

3-1 永野 精一

私たちは、体育大会での結果が良くなく、みんな涙を流しました。この悔しさをむつみの祭で晴らしたいと誓いました。練習に力が入りました。集中し、練習に取り組みました。むつみの祭当日、みんなで心を一つに歌うことができました。本気で、笑顔で、そして楽しく歌うことができました。スクールトップも獲ることができて、今度は嬉し涙を流しました。最後のむつみの祭、このメンバーで歌うことができて良かったです。



3-2 渡久地 杏郁

「虹物語」私達はむつみの祭で32色の虹をかけました。しかし、このキレイな虹を作るまで様々な物語がありました。指揮者である私は男女のハーモニーが日々上達していくのを実感することができました。時にはぶつかり合うことがあっても本番まで団結し、一つとなって本番を迎えることができました。結果は、関係なく合唱を通して得た物は一生の思い出となりました。「虹」を作った3年2組に感謝しかないです！



3-3 阿部 励香

私たちは『言葉にすれば』を歌いました。すべて四部合唱で、最初の音取りからとても苦戦しました。でも、パートリーダーや、むつみの祭実行委員を中心に目標を決めたり、意見を出し合ったりしていくうちに良くなっていきました。クラスの合唱が上達していくのを肌で感じられました。その思いを胸に、本番、中学校生活最後のステージで、感動する合唱ができたと思います。3年3組の指揮ができたことに誇りをもっています。



3-4 北原 舞桜

練習が始まった頃は決して良いものではありませんでした。クラスの代表者たちで話し合い、パート練習を重ねていくとだんだん気持ちが一つになり、合唱も良くなりました。スクールトップや優秀賞にはとどきませんでしたが、欠席者の分まで良い合唱ができたと思います。4組はこの合唱を通して、話を聞く姿勢が成長したように思います。卒業まであと4か月。今回での成長を普段の学校生活に生かしていきたいと思います。



3-5 中平 要

練習で声も合わず、気持ちも合わず、良くない雰囲気でも迎えた前々日。私たちは、自分の合唱に対する思い、意気込みを共有しました。「3年5組でよかったと思えるような合唱にしたい」そこから少しずつ気持ちが合ってきたのだと思います。次の日から雰囲気が変わりました。そしてむつみの祭当日は、今までで一番よい合唱ができました。このメンバーで「証」を歌えてよかった。すごく楽しかった。お疲れ様でした。

演劇部・吹奏楽部・ひまわり級のみならず感動をもらいました

